

ブレイクタイムズ 第6号

平成25年2月



平成25年1月26日(土)に、ご家族8名と患者様1名に参加して頂き、第6回家族会を開催いたしました。

～在宅生活における介護保険サービス～をテーマに①介護保険の概要説明(居宅介護支援事業所 ケアマネジャー 白倉)②訪問リハビリテーションの内容(訪問リハビリテーション室 理学療法士 小沢)③福祉用具の実演(介護センター花岡 福祉用具専門相談員 吾妻氏)の3部構成で進行させて頂きました。在宅をテーマにした家族会は今回が初めてで、退院を控えている患者様のご家族からは、介護保険とは？訪問リハの提供エリアは？など具体的なサービスに関する質問が聞かれました。③福祉用具の実演では、リフトを使用した移乗動作の実演となり、参加者の皆様は初めて見るリフトに興味津々の様子で、実際に安全に使えるのか？操作方法は難しくないか？といった意見があがりました。

最後に、参加者間のディスカッションでは、在宅で10年ご主人様を介護されている奥様より「昔は、制度が整っていなかったから、使いたいサービスが使えなかった」「歳を重ねていくと、介護者も体力が落ちていくから今後が心配」とのお話しが聞かれました。今後、年々増える傾向にある“老老介護”に対しては、介護者が遠慮なく悩みを言える機会を地域で設け、地域で支えていくことが必要と考えます。

今回の家族会は、過去の家族会に負けないくらい、参加されたご家族の介護に対する積極的な姿勢が見受けられました。「退院してみないとわからない」とおっしゃるご家族の、不安要素の除去に、少しでも今回の家族会がお役に立てたら嬉しいです。住み慣れた自宅で安心・安全に生活できるように、そして患者様・ご家族が抱える退院後の不安を期待に変えられるように、在宅スタッフ側からの情報提供を積極的に行っていきたいと思っております。

訪問リハビリテーション室 理学療法士
小沢 仁

